

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会規定によって競技を行う。
2. 招集は、トラック種目・フィールド種目ともに雨天練習場で行う。
招集開始時刻に競技者係・各種目の競技役員の点呼を受け、アスリートビブス、腰ナンバー、スパイクシューズの点検を受ける。
(注) 2種目に引き続いて出場する場合などで、次の種目の招集点呼を受けられない場合は、第1出場種目の招集開始時刻までに競技者係に多種目同時出場届を提出して確認してもらい、指示を受けること。
点呼を受けない者は、棄権するものとみなし出場を認めない。
3. リレーのオーダー用紙の提出は、次の通りとする。

提出先	提出時間・その他
本部番組編成	招集完了時刻の2時間前～1時間前までに提出すること。

4. プログラム記載の名前、アスリートビブス（ナンバー）等に誤りがあれば、大会総務に申し出ること。
5. アスリートビブスは、胸部・背部にしっかりとつける。（招集時に点検する。）
ただし、跳躍競技に参加する競技者は胸部・背部のいずれかでも良い。
6. 腰ナンバーは、各自がプログラム記載のレーン番号と同様のものを右腰やや後方につける。
四隅をしっかり固定すること。
1500m、3000mSCの出場者には腰ナンバーを、5000m、3000mWの出場者には別ナンバー、腰ナンバーを渡す。
それ以外の種目の出場者にはついては、各校で腰ナンバーを用意すること。
7. やりは、各自持参の物を検査を受けて使用しても良い。検査はフィニッシュ側の用器具庫で行う。
検査時間： 男女やり投 招集完了30分前から20分間 男子12:00～12:20 女子8:15～8:35
混成やり投 競技開始の40分前から10分間 男子10:05～10:15 女子11:20～12:30
8. 競技場は、全天候性であるので9mm以下の全天候性のスパイクピンを使用すること。
(走高跳、やり投げは12mm以下)
9. 走高跳のバーの上げ方は、下記の表を目安とする。（当日の状況により、審判員の判断で変更する場合がある。）

	練習	1	2	3	4	5	6	
男走高跳	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1m75以降3cmきざみ
女走高跳	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.48	1m45以降3cmきざみ
男棒高跳	2.20	2.40	2.60	2.80	3.00	3.10	3.20	3m00以降10cmきざみ
女棒高跳	1.50	1.70	1.90	2.00	2.10	2.20	2.30	1m90以降10cmきざみ
八種走高跳	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1m60以降3cmきざみ
七種走高跳	1.10	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1m40以降3cmきざみ

10. 競技運営の都合上、3000m、5000m、3000mSC、男女5000mW、は著しく遅れた者は競技を中止してもらう場合がある。
11. ウォーミングアップについては、2日間ともに補助競技場で行うこと。ただし、芝生への立入は禁止する。
12. その他
 - 1) 補助員については、各校2名を出すこと。
 - 2) 各自の荷物は、盗難にあわないよう各自で注意すること。